



# 学校だより

No. 4

東京都立多摩科学技術高等学校

令和2年 3月 7日

第4回学校だよりでは、昨年10月以降の学校行事中心にお伝えいたします。

## 卒業に向けて

校長 白鳥 靖

今年度は平成から令和へと時代が変わった年であり、本校は10周年を迎えた年でした。この大きな節目となった年もいよいよ大詰めです。今年度のまとめや次年度に向けた準備など、一年の中でも特に忙しい時期に入っています。また、11期生となる入学者が決定し、8期生は卒業を迎えます。

8期生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは、令和という新しい時代を切り拓いていく存在です。多摩科技の3年間で培った「科学の視点」をさらに磨き、自らを高める努力を惜しまないでください。

さて、新しい元号「令和」は、今年度の初日である4月1日に発表されました。『万葉集』にある、梅花の歌三十二首の序文にある一文、「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す」が典拠となっていることはご存じのとおりです。私はこの一文に関して、4月9日の入学式で次のようなことを話しました。

～みなさん、文中の「梅」はよく知っていると思いますが、では「蘭」はイメージできるでしょうか？科学の視点から考えてみると、面白いことがわかってきます。実はここでいう「蘭」とは、キク科の多年生植物であり、秋の七草のひとつでもあるフジバカマなのだそうです。そのままでは無香のフジバカマですが、乾燥するとその茎や葉に含まれているクマリン配糖体が加水分解され、オルト・クマリン酸が生じるため、桜餅の葉のような香を放つということです。万葉の昔に読まれた一文、日本の美しい自然を感じさせる一文も、科学の視点でとらえ考えることが出来るのです。～

8期生のみなさんの活躍を期待しています。

## 芸術鑑賞

担当 工藤 千尋

11月1日(金)、三鷹市公会堂光のホールにて、芸術鑑賞教室が行われました。今年度は古典芸能を鑑賞する年で、重要無形文化財総合指定保持者である三宅右近さんを中心とする、和泉流狂言会の狂言を鑑賞しました。まずは解説をして頂きながら、紋付袴姿での「盆山 (ぼんさん)」という演目を鑑賞しました。舞台や客席の名称、演者の登場時には「名のり」という自己紹介をすること、大道具を使用せず「道行き」で場面が変わること、音響効果は演者の声で表現すること、等を教えて頂きました。猿や犬の鳴き真似、鯉の鳴き声の場面ではどっと笑いが起こりました。

装束姿での演目としては「蚊相撲 (かずもう)」と「棒縛 (ぼうしばり)」を鑑賞しました。蚊ノ精が大うちわで扇がれてふわりふわりとする姿や、両手を縛られた二人がお酒を飲もうと奮闘する姿が見ものでした。

途中のワークショップでは、足袋を履いた代表生徒6名と教員1名が本舞台へ登場し、「構え」と「すり足」、発声法などを習いました。終了時には習得したばかりの「すり足」で橋がかりを通り、揚幕 (あげまく) をくぐっての退場となりました。会場内は大きな拍手でした。本格的な能舞台の上での貴重な体験となったのではないかと思います。

楽しく笑いながら色々な種類の狂言を鑑賞でき、伝統芸能の面白さと奥深さを堪能した芸術鑑賞教室となりました。

## 修学旅行

修学旅行委員長 2年5組 松本 水香

1月5日から8日までの4日間で2年生は関西と広島へ修学旅行に行きました。4日間の殆どが班別行動で自由度が高い分、各々の責任が重かったのですが、大きな問題もなく無事終わることが出来て良かったです。修学旅行でより一層友人との絆が深まったのではないのでしょうか。

また、2年生は来年度も遠足などの行事があるので今回学んだことを忘れずに活かしていければと思います。受験期になり勉強が大変になっていくと思いますが、行事も楽しみつつ志望校合格に向けて頑張ってください。1年生は来年度の修学旅行を楽しみに、中だるみしないよう勉強も遊びも両立できるよう高校生活を送ってください。

## 第2回科学技術アドバイザー特別授業・講演

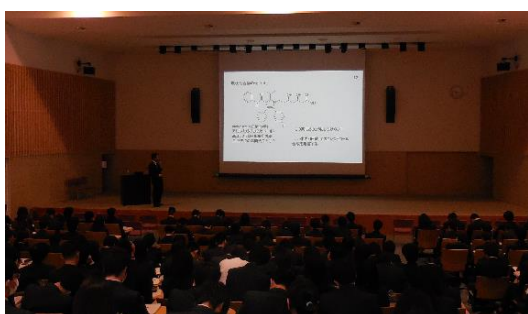
第2回のアドバイザー授業が2019年12月24日に行われました。2年生は全体講義、1年生は関心ある希望の講座を受講するものです。

2年生	講 演	東京理科大学	齋藤慎一教授	からまりあう分子
1年生	特別授業	東京工科大学	西野智彦教授	腐敗を科学する
		日産自動車	白土良太さん	自動車の自動運転の取り組み
		東京農工大学	寺田昭彦教授	窒素による水環境汚染と微生物を用いた浄化技術
		情報通信機構	西塚直人さん	太陽フレアと宇宙天気予報

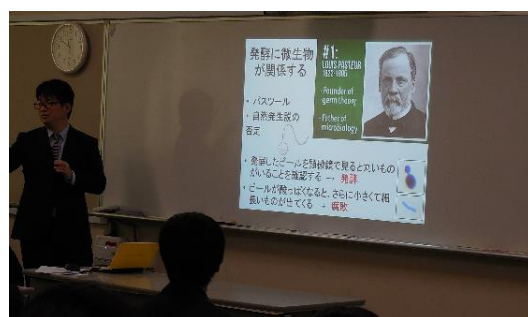
2年生の講義は物理などの基礎科学の一端で面白く、やはり科学の王道です。2年生にとってまだ有機化学を習っていないせいか、難しい内容でした。でもさすがに、TKG。講師の先生に鋭い質問を浴びせていました。

1年生の講義は今はやりの自動車の自動運転から物の分解までなどが行われました。情報通信研究機構までは多摩科技生にとっては辛い歩きで、施設見学やレーダー波のなどを習いました。

どの講座も必死に聞いている姿が印象的でした。



2年生 講 演



1年生 特別授業

### 《これからの行事予定》

3月 2日(月)～24日(火) 自宅学習、部活動なし

3月25日(水) 修了式・離任式

4月 6日(月) 令和2年度 始業式